

令和元年度 自己評価並びに学校関係評価報告書

1. 本園の教育目標

- ①自分のことは自分でできること
- ②「おはよう」の挨拶ができること
- ③「ありがとう」と、すぐにお礼を言えること
- ④人の目を見て、しっかりとお話を聞けること
- ⑤自分の思ったことを、言葉で伝えられること

集団生活を通して、個々の幼児の自主性を育て、豊かな心、よき生活習慣や人間関係に向かう意欲、態度を培う。環境を通して、頑丈な体を作り、人としての心「素直な心」「くじけない心」「優しい心」「思いやりのある心」を育てられるよう、「バランスのとれた保育と教育活動」を目指す。

2. 令和元年度重点的に取り組んだ目標・計画

幼稚園教育要領の改正された事を踏まえて、全教職員がしっかり理解をし、自己点検・自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見て、自らの保育を見直し、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

	評価項目	取組み状況
1	安全管理 (防災対策の見直し)	災害や不審者侵入時等について、職員は専門家から、指導やアドバイスを受け、災害時初期行動マニュアル&サバイバルカード(地震・水害)を完成し、職員は常にマニュアルを携帯し、災害時はマニュアルを見て行動する事を決め実行している。また、非常食、飲料水、非常用の備蓄など、今まで十分でなかった点も見直し、必要な物を準備した。
2	教育課程・指導 (保育・行事の見直し)	行事毎に必ず職員で振り返りをし、父兄からのアンケートで頂いた意見も参考に次への改善点を考えた。園内研修を通して、他の教員の指導を見たり、意見の交換をすることで、それぞれの保育について見直したり、気づいたりして研鑽を積んでいる。
3	教職員の協力・連携	毎日、退勤時間前に30分～1時間位の時間を使って職員が全員そろって、一日の振り返り、伝達事項、様々な情報の交換を行っている。問題点があれば、皆で話し合い解決するなど、全教職員が様々な課題を共有、協力して取り組んだ。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

保育に関しては学年主任や担任が、安全管理に関しては、担任を持たないフリーの教員が中心となって、教職員全員で話し合っているいろいろな事に取り組んだ。全教職員に、あまり負担がかからずに、様々な点の見直し、改善が進められてきている。みんなが自分の意見を出し合って考えるという事が、少しずつ定着してきているように思われる。全教職員の子どもたちにとってより良い保育を目指すという思いを大切にして、教職員にとっても、子どもたちにとってもより良い園を目指していきたい。

5. 今後取り組む課題

昨年度末からのコロナ禍の影響で、園生活のすべてにおいて、これまでとは違う新たな視点や考え方で、見直しをする必要が生じてきた。今までの習慣や常識にとらわれず、衛生面はもちろんのこと、行事、保育その他、園生活すべてを見直す良い機会ととらえ、子どもにとってのベストは何かを一番大切にして全職員で見直し、課題をみつけ工夫、改善をしていく。

	課題	具体的な取り組み
1	安全管理 (施設・設備・園児に対する安全、衛生に対する安全管理)	現在も、あらゆる点で安全について配慮をしているが、平素行っている事に加え、コロナウイルス対策という観点から、改めて見つめなおし、考えていく必要がある。コロナウイルスの正しい知識に基づき、子どもたちにとって安心、安全な園生活が送れるよう考え、改善していく。
2	教育内容 (教育環境の構成)	毎年、保育、行事について、常に反省見直しを行って、より良い保育を模索している。しかし、保育や行事もコロナウイルス対策の観点から、もう一度見直す必要がある。安全な環境で子どもたちにとってのベストな教育を、全職員で考えていく。
3	教育内容 (教職員体制の充実)	昨年より引き続き、チーム保育という意識を高め、いろいろな問題を教職員全員で共通理解し、考え取り組んでいく。経験年数にかかわらず、教職員一人一人が自分の考えを発表し考えていく環境を作っていく。

6. 学校関係者の評価(令和元年度自己評価に基づく)

○学校関係者評価・意見

- ・ 防災対策の見直しの点では、安全管理の面で新たに各園児に非常用備蓄を準備したり、先生方が専門家の指導を受けマニュアルを携帯しているということで、いざという時も安心して園に対応をお任せできる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言による臨時休園中も、働く親のために預かり保育を継続して園児を受け入れてくれたことに感謝しています。
- ・ 保育、行事の見直しの点では、運動会が半日になり、園児や保護者の負担が減り、熱中症対策の観点からもよいと感じました。
- ・ 研究保育やピアノ等保育技術に関する園内研修を実施しておりとても良いと思います。今後も種々の研修に参加して自己研鑽に努めてもらいたい。
- ・ 行事ごとのアンケートがアプリでの入力となり、提出する手間もなくなり、感じたことをすぐに入力できるようになりとても良いです。保護者の意見を積極的に取り入れて下さり、園と保護者が理解し合い協力を深められていると思います。
- ・ 先生方がひとりひとりに寄り添い困っている事などに対応して下さり、クラスの垣根を越えて解決して

くださることに感謝します。

- ・ 教育目標にあるように、特に豊かな心や、よき人間関係に向かう意欲、態度が一年ごとに成長していると感じます。
- ・ 子どもが楽しそうに自分を発揮しており、成長を感じられました。
- ・ 今後は、新型コロナウイルス感染症対策をふまえての行事や保育の考え直しが必要となるので、これからの対応についてのマニュアル作りや保護者への周知徹底をお願いします。

○学校関係者評価 評価者

前母の会会長 和田 晴美 様

現母の会会長 市川 光代 様

元名古屋文化学園保育専門学校教員 加藤 洋子 様